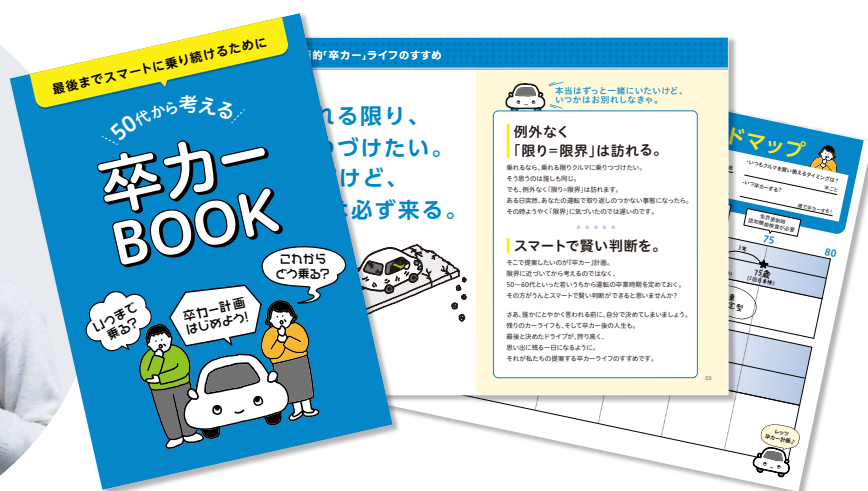


第14回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

優秀賞を受賞!

最後までスマートに乗り続けるために

卒カーBOOK



昨今話題に上ることの多い高齢者による自動車事故。

ぼんやり免許返納のことについて考え始めてはいるものの、まだ先のことだし、

具体的に何をどう考え、進めれば良いのかよくわからない。

また高齢の両親に免許返納を薦めたいけれど、

現実的に何からどう切り出すべきか難しい。

そこで免許返納=卒カーという風に

ポジティブに捉え直し、将来設計として

計画的に考えられるようなツール

「卒カーBOOK」を作成しました。

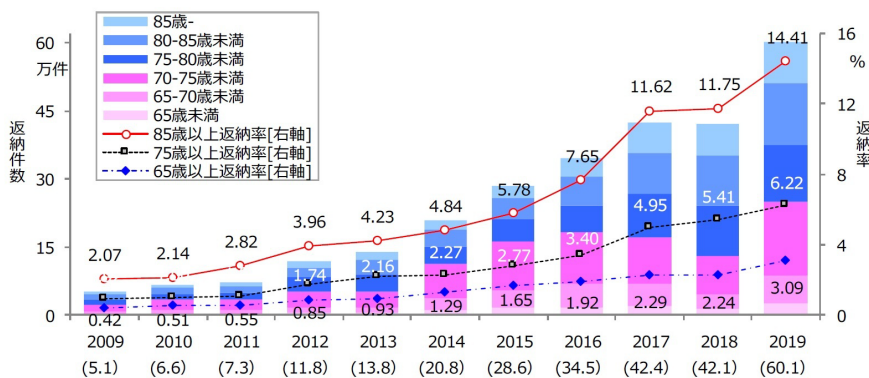


卒カーBOOK 概要

01 目的

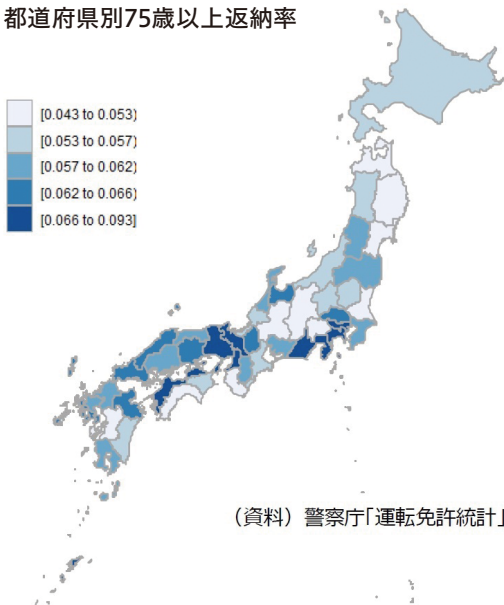
シニア世代の悲惨な自動車事故が多発する昨今、運転免許証の自主返納が話題に上がっています。返納率自体は全国で微増傾向にありますが、まだまだ大きな潮流とはなっておらず、また生活の足、大切な交通手段をいきなり失うことに抵抗がある高齢者が多く、都道府県での返納率の差が生じているのも事実です。そこで本誌が企画したのが、「卒カー計画」というアプローチ。50～60代という比較的若い年代から主体的に「免許返納＝卒カー」の時期を定めることで、残りのカーライフをどう過ごすかを積極的に検討してもらえるツールを作成しました。

図表1 免許返納数、返納率の推移



(注1) 各年の()内は返納総数(万件) (注2) 2012年より返納時に身分証明として利用できる運転経歴証明書を希望者に発行、2017年に認知機能検査厳格化
(資料) 警察庁「運転免許統計」(各年)

図表2 都道府県別75歳以上返納率



大都市圏では返納が進むも、
地域差が大きい

図表1,2: ニッセイ基礎研究所“高齢者の運転免許返納は増加したか? ~返納率は上昇するも、都道府県差は拡大” (2020年3月31日) より引用
<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=64131>

02 ターゲット

免許返納について考え始めている50～60代や、免許返納を検討中の高齢者、その子ども世代。運転免許更新センターや自動車教習所、また総合保険代理店やカーディーラーなどでの設置・配布を想定。



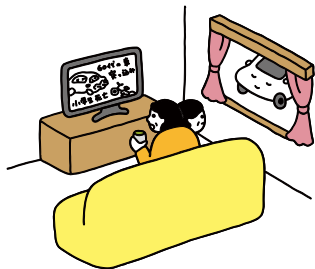
03 ツール解説

「遺産相続問題」を「終活」という風に捉え直すことで、老後のライフスタイルに計画的かつ積極的な変容を生み出したように、「免許返納」というネガティブで受け身な事項を「卒カー」という自主性と計画性を持ったワードに変換。それにまつわる心構えや現実的・社会的・肉体的な分岐点をわかりやすく解説しました。

第1章 計画的「卒カー」ライフのすすめ

シンプルなイラストと
平易な文章で
少しずつ「卒カー」への
理解を深める

シニア世代の 事故報道を見て、 少しでも 不安に思ったら。



04



近頃こういうニュースが多いわよね。
ちょっと心配...

自身の今後を想像してみてください。

たびたび流れる、70～80代による事故報道。
テレビを眺めるあなたも、無関心ではられません。
シニア世代の運転に不安を感じた方は、
自身の今後を想像してみてください。周りの人を不安にさせる前に、
卒カーするのがベストだと思いませんか？

「地元ではクルマが必需品」 だけど。

「そうは言っても、なかなか手放せないかもなあ。
地元ではクルマが必需品。マイカーが一番便利だし...」
そう思った方は要注意。テレビの中で事故を起こした人も、
あなたと同じように考えていたはずだ。

「あのとき免許を返納すべきだった。
そう思わないように、自分で卒カーを決断する方も増えています。
このまま漠然と乗りつづけるか、卒カー計画を準備するか。
決めるのは、もちろん自分自身です。」

05

UDフォントを使用し、
読みやすいような
文字の大きさや行間、
文章量に調整

[P型(1型)色覚シミュレーション]

① 計画的「卒カー」ライフのすすめ

シニア世代の 事故報道を見て、 少しでも 不安に思ったら。



04



近頃こういうニュースが多いわよね。
ちょっと心配...

自身の今後を想像してみてください。

たびたび流れる、70～80代による事故報道。
テレビを眺めるあなたも、無関心ではられません。
シニア世代の運転に不安を感じた方は、
自身の今後を想像してみてください。周りの人を不安にさせる前に、
卒カーするのがベストだと思いませんか？

「地元ではクルマが必需品」 だけど。

「そうは言っても、なかなか手放せないかもなあ。
地元ではクルマが必需品。マイカーが一番便利だし...」
そう思った方は要注意。テレビの中で事故を起こした人も、
あなたと同じように考えていたはずだ。

「あのとき免許を返納すべきだった。
そう思わないように、自分で卒カーを決断する方も増えています。
このまま漠然と乗りつづけるか、卒カー計画を準備するか。
決めるのは、もちろん自分自身です。」

05

[D型(2型)色覚シミュレーション]

① 計画的「卒カー」ライフのすすめ

シニア世代の 事故報道を見て、 少しでも 不安に思ったら。



04



近頃こういうニュースが多いわよね。
ちょっと心配...

自身の今後を想像してみてください。

たびたび流れる、70～80代による事故報道。
テレビを眺めるあなたも、無関心ではられません。
シニア世代の運転に不安を感じた方は、
自身の今後を想像してみてください。周りの人を不安にさせる前に、
卒カーするのがベストだと思いませんか？

「地元ではクルマが必需品」 だけど。

「そうは言っても、なかなか手放せないかもなあ。
地元ではクルマが必需品。マイカーが一番便利だし...」
そう思った方は要注意。テレビの中で事故を起こした人も、
あなたと同じように考えていたはずだ。

「あのとき免許を返納すべきだった。
そう思わないように、自分で卒カーを決断する方も増えています。
このまま漠然と乗りつづけるか、卒カー計画を準備するか。
決めるのは、もちろん自分自身です。」

05

色覚に関わらず
読みやすい色使い、
明度・彩度にも配慮

各章末には高齢者が実際に免許更新の際に受験する認知テストをはさみ、その時々自身の状態を確認できるようにしました。また自身の卒カーまでを自身の意志を持って計画できるよう、巻末には自分で書き込める卒カーロードマップを設置しました。

\\ やってみよう! / 認知機能テスト

② 手がかり再生

75歳以上のドライバーが免許更新時に受ける、認知機能検査の出題例です。
3つの検査項目で、記憶力や判断力を測定します。(検査のあと、内容をフィードバックします)

下にある8つのイラストを覚えてください。



イラストを隠し、下の表の「2と6」に斜線を引いてください。

3	5	8	2	9	1	7	6	2	5
6	1	5	3	7	9	2	8	4	1
8	7	4	6	5	1	3	9	5	2
5	2	3	9	1	6	8	7	2	3

終わったら、8つのイラストを思い出し、すべての名称を答えてください。

16

あなただけの卒カー計画を立てよう!

卒カーロードマップ

①右の質問に答え、現在の状況を確認します。
②下の表に、現在の年齢と卒カー予定の年齢を記入します。
③クルマの乗り換えタイミングを考え、記入します。乗り換え時の年齢や、
乗り換える車種も書き込んでいきましょう。
④購入車種や買い方などを考え、書き込んで記入して完成です!

質問

・現在の年齢は? 歳

・いつまでクルマを買い換えるタイミングは? 歳

・今乗っているクルマは何年使用? 年使用

・いつ卒カーする? 歳で卒カーする!

卒カーロードマップ

記入例	50	55	60	65	70	75	80
乗り換え タイミング	現在 52歳	55歳 (17日更新)	62歳 (17日更新)	71歳	69歳 (17日更新)	72歳 (17日更新)	75歳 (17日更新)
購入車種・ 買い方など	セダンローン	コンパクトカー ローン	コンパクトカーか軽自動車 残価設定型		軽自動車 残価設定型		
あなたの卒カー計画	乗り換え タイミング						
購入車種・ 買い方など							

※実際の試験では、この表「見出し」欄に「卒カー」などのヒントをもとに回答します。

17

メディア・ユニバーサル・デザインとは

多様化する社会の中、高齢者、障がい者（弱視等）、色覚障がい者といった方々をはじめ、すべての人へ見やすく・わかりやすい情報伝達を目指す「メディア・ユニバーサル・デザイン」（以下MUD）。

色使いやフォントなどに配慮してデザインされたもので、さまざまな人が快適にメディアを利用できるよう活用が広がっています。

全日本印刷工業組合連合会では、MUD普及活動の一環として「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を毎年主催。MUDを用いて制作された、アイデアに富んだ作品を募集し表彰しています。

卒カーBOOKは、第14回コンペティションにて優秀賞（一般の部）を受賞しました。

MUD5原則

ユニバーサルデザインを印刷物などで具現化するにあたって配慮が必要な5つのこと

接近容易性
accessibility

まずは見えるか？
読めるか？

使いやすさ
usability

かゆいところに
手が届いた情報！

読めて
理解できる
literacy

どんな人でも
理解できる見せ方！

情緒に訴える
design

もちろん
デザインも重要！

持続可能性
を満たす品質であること
sustainability

さらに
人も地球も大切に！



※参考資料:全日本印刷工業組合連合会「メディア・ユニバーサルデザインガイドライン」

卒カーBOOKに関する問い合わせ

担当者 株式会社スタジオネ63 十倉(トクラ)

TEL: 03-3699-0066 / FAX: 03-3645-6305 メール: makoto_tokura@mut.co.jp



株式会社スタジオネ63 (六三グループ)
〒135-8563 東京都江東区潮見2-4-18

六三グループ  <https://www.mut.co.jp/>